

2023年度 太平洋いわし類長期漁海況予報

令和6年3月26日付で、「2023年度第太平洋いわし類長期漁海況予報（2024年4月～7月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に関係する予報が出されたのは、マイワシ及びカタクチイワシで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2024年4月～7月）〉

●海況（対象海域：房総～常磐南部海域）

見通し：房総～常磐南部海域は「平年並」～「高め」で推移する。

●マイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：前年並～下回る。

(2)漁期・漁場：まき網は、犬吠埼沖～常磐南部海域で漁場が形成され、5月以降には三陸南部海域、6月中旬以降には道東海域でも形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。

(3)魚体：10cm～16cm前後（1歳魚）、15cm～18cm前後（2歳魚）、17cm～19cm前後（3歳魚）、17cm以上（4歳以上）。期後半には房総海域において11cm前後（0歳魚）も漁獲される。

●カタクチイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：房総海域では前年を下回る。三陸南部海域～仙台湾では前年を上回る。三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。常磐海域、道東海域では予測が困難。

(2)漁期・漁場：房総海域ではまき網により期を通じて漁獲されるが、散發的。三陸南部海域～仙台湾では定置網により期を通じて漁獲される。

(3)魚体：6cm～13cmの1歳魚主体で、11cm以上の2歳魚も漁獲される。

※ 詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ（https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/fri_20240326_iwashi-pac.html）に掲載されております。